



1 学年だより

2023. 1. 30

第 10 号

1 学年ラストスパート！……スキー研修を終え、学年末考査まで2週間あまり

先週末の1月26日（木）から27日（金）にかけて1泊2日でスキー研修が行われました。裏面に写真を掲載します。直前に予報通り十年に一度あるかどうかという大寒波が襲来し、この行事の実施が危ぶまれましたが、集合場所を分散するなどしてなんとか実施することができ、大変よかったですと思います。山は2日間ともこの時期としては珍しいほどの穏やかな天気にも恵まれました。グレンデの雪質も良好で、眼下に野尻湖や長野側の雄大な山並みを望みながら、気持ちよく滑ることができました。生徒たちも、学校とは少し違った雰囲気の中で、仲間とともに楽しくも真剣にスキーに取り組んだ2日間でした。保護者の皆様、送迎等のご協力ありがとうございました。

さて、2月16日（木）から学年末考査が行われます。3学期は中間考査がありませんから、1年生で最後のこのテストが、3学期の成績の大きな比重を占めることになります。1・2学期の成績と総合した年間の評価がそれで確定するわけですから、進学や就職といった各自の進路目標達成のためにも、また進級という切羽詰まった目標達成のためにも、頭を切り替えてしっかりと準備してください。

テストで点数を取るために大切なのは、直前のいわゆる「テスト勉強」ももちろんですが、まずは日々の授業に集中することです。予習・復習をして授業に臨み、きちんとしたノートづくりを心がけ、授業の中で理解するよう努める。小テストや提出物を絶対におろそかにしない。そういった高校生として当たり前の取り組みがないと、いくら直前に「テスト勉強」しても大きな効果は得られません。今年度は残り少なくなってきましたが、来年度に向けてぜひ意識してください。学習内容はますます難しくなっていきます。

なお、学年末は100点法とあわせて5段階でも評価されます。進学・就職時の調査書に記載される形です。3年生になって進路を最終決定する際、「評定平均」が低いために選択の幅が狭まってしまったということにならないよう、各自最善を尽くしてください。基準は以前にも書きましたが次のとおりです。

- 80～100点 → 5
- 65～79点 → 4
- 50～64点 → 3
- 40～49点 → 2
- 39点以下 → ①

欠点＝追認考査を受けて合格できなければ進級できません。
ただし4科目以上あった場合、追認考査は受けられません。
原級留置(留年)となります。



「大学入学共通テスト」終了……2年後に出番の皆さんへ

1月14日（土）15日（日）の両日、全国一斉に大学入学共通テストが実施されました。全国で約51万人が受験しました。県内では約9200人が15の会場に分かれて受験しました。常盤高校からは皆さんの先輩である3年生（現役生）が59名、新潟産業大会場で受験しました。その後の自己採点の結果をうけて、最終的な出願先を決定し、国公立大の二次試験や私大入試に向かうこととなります。国公立大はもちろんですが、私大も県内県外を問わずほとんどが現在この共通テストを利用しており、一般入試で合格を勝ち取るためには、あと2年間でその力を付けていかなければなりません。

「□□の職に就きたい」とか「〇〇大学の△△学部に入りたい」と口で言うのは簡単です。しかし、それを実現するためにはそれなりの努力が必要です。あと2年足らず、1日1日の授業や家庭学習を大切にして積み重ねていくしかありません。夏休みの宿題でも、「まだ先は長い。しばらくはまだ……」「来週になったら今週の方もまとめて……」「明日こそは……」と先延ばしして、大変なことになってしまった経験が誰しも幼い頃あったのではないのでしょうか。苦しいことから逃げてばかりいては、道は開かれません。自分の人生は自分で切り拓くという強い気持ちを持ち続けてください。

共通テスト・過去の問題から易しいところを少し

2021 数学 I k を実数とする。2 次関数 $y=2x^2-4x+5$ のグラフを G とする。また、グラフ G を y 軸方向に k だけ平行移動したグラフを H とする。(1) グラフ G の頂点の座標は (ア), (イ) である。(2) グラフ H が x 軸と共有点を持たないような k の値の範囲は $k >$ ウエ である。

2021 国語 傍線部に相当する漢字を含むものを次から選べ。

「人間の心に不安と恐怖をカンキする。」 → **オ**

①証人としてショウカンされる。 ②優勝旗へンカン。 ③勝利のエイカンに輝く。 ④意見をコウカンする。

傍線部の語句の意味として正しいものを次から選べ。

「……のではないかと千春は危惧したのだが、店員さんは、ああはい、少々お待ちください、と……」 → **カ**

①疑いを持った ②慎重になった ③気後れがした ④心配になった ⑤恐れをなした

大寒から2/3 節分、そして2/4 立春へ……防寒対策の徹底を

2月 は古くは「如月（きさらぎ）」と呼ばれていました。語源は、寒いので「着（き）」「更（さら）」「着（き）」するからだと言われています。節分は、春夏秋冬それぞれの季節の始まりである「立春、立夏、立秋、立冬」の前日のことを表す言葉です。文字通り季節の分かれ目です。ですから年に4回ありますが、旧暦では春から新しい年が始まっていたことから、立春の前日の節分は、現代の暦で言えば大晦日にあたり、大切な日とされました。そのためだけに節分といえはこの日をさすようになったと言われています。

いずれにしても、大寒（1/20）を過ぎた今頃は1年のうちで最も寒い時期です。しかし、教室の窓は感染症防止対策（換気）のため閉めきるわけにもいきません。そこで、各自まずは制服の下に着るものなどでしっかりと防寒対策を取ってください。タイツなど着用しても足が寒い場合は、担任に申し出て膝掛けを使用することができます。カーディガンは色などの指定はありませんが、ブレザーからはみ出さない適正なサイズ・デザインのものをブレザーの下に着用することができます。防寒対策をしっかり取り、体調を崩さないように心がけましょう。最後に立春にちなんだ和歌の問題。

問 次の和歌の下線部の助動詞A・B・Cについて①意味②活用形として正しいものをそれぞれ選択肢から記号で選べ。

袖ひちて掬^{むす}び**A**し水の凍^{こほ}れ**B**るを春立^{はるだ}つ今日^{けふ}の風やとく**C**らむ （古今和歌集・紀貫之）

（夏の間）袖を濡らしてすくった水が（冬の間）凍っていたのを（暦の上で）春となる今日の風がとかしているだろうか

- ① ア 使役 イ 尊敬 ウ 受身 エ 意志 オ 現在推量 カ 過去 キ 存続 ク 自発 ケ 断定 コ 打消
② ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形 エ 連体形 オ 已然形 カ 命令形

2月の主な行事予定

- 2 / 5（日）閉庁日
1 4（火）職員会議
1 5（水）T 4 5 6
1 6（木）～2 1（火）学年末考査
2 2（水）球技大会
2 4（金）小論文講演会
職員会議



共通テスト過去問の解答

ア 1 イ 3
ウ - (マイナス) エ 3
オ ① カ ④ (⑤を選んだ人 残念)

和歌(助動詞)の問題の解答

A ① カ ② エ
B ① キ ② エ
C ① オ ② エ(係り結び)



